

レンタルラボ 機器紹介

血管内皮機能検査 FMD検査装置

ユネクスイーエフ
(株)ユネクス

UNEXEF18VG



新潟バイオリサーチパーク株式会社
〒956-0841
新潟県新潟市秋葉区東島316-2

お問合せ

0250-25-1196

<受付時間> 午前9時～午後5時
詳しくは電話にてお問い合わせください。

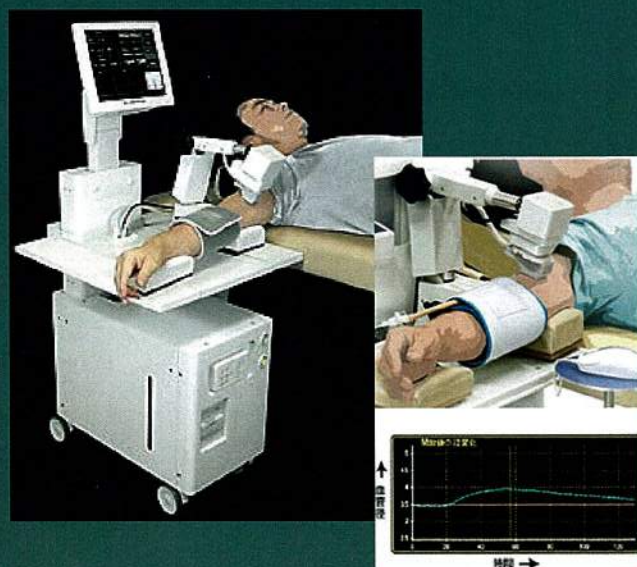
【FMDとは】

FMDとは、Flow Mediated Dilationの略で「血流依存性血管拡張反応」といい、血管内皮機能評価の非侵襲的血管内皮機能検査として近年注目されています。動脈硬化は血管内皮機能障害から引き起こされるとされており、FMD検査は動脈硬化が引き起こす様々な疾患に対する早期発見・早期治療に有用です。

FMD検査、すなわち血流依存性血管拡張反応検査は、カフで腕を締めた後の血流増大によるずり応力により血管拡張物質である一酸化窒素（NO）が血管内皮からどれだけ放出されたかを診る検査です。血管内皮機能が低下しているとNOの産生が少なくなり、FMD値は低下します。

$$\%FMD = \frac{\text{最大拡張血管径(mm)} - \text{安静時血管径(mm)}}{\text{安静時血管径(mm)}} \times 100$$

正常値の目安は6%以上で、5%未満で血管内皮障害が疑われます。



【測定手順】

上着を脱いで、肘の上まで袖をまくります

ベッドに仰向けになります

血圧を測定します

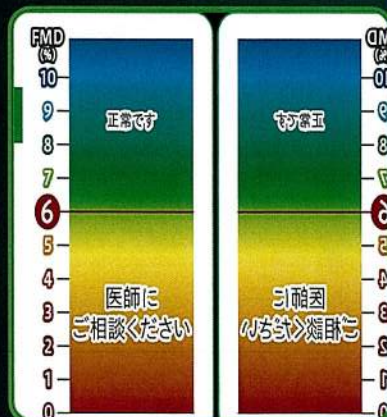
血管径（動脈の直径）を計測します



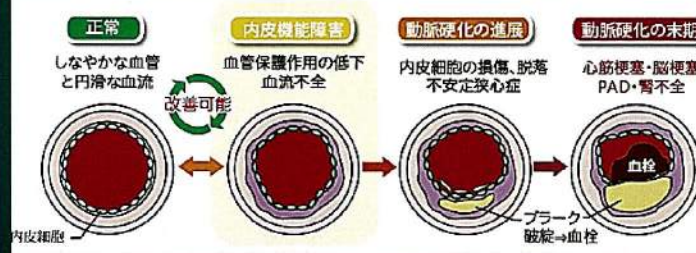
5分間腕を圧迫します

圧を抜いて2分間測定します

終了



血管体力は血管状態を反映するバロメーター



血管内皮機能障害を予防することが大切です

動脈硬化を発症する前段階で血管内皮機能障害が起こることがわかってきました。

この血管内皮機能障害は改善することができるため、早い段階で血管の状態が判れば、動脈硬化の予防になるのです。ずっと健康でいるために、血管体力を向上させましょう！